

令和 6 年度 事業報告書

自：令和 6 年 4 月 1 日

至：令和 7 年 3 月 31 日

社会福祉法人若狭町社会福祉協議会

法人運営事業

◇ 組織体制の強化

・ 理事会の開催

6月4日	第1号議案	令和5年度事業報告及び決算報告について
	第2号議案	非正規職員就業規則の変更について
	第3号議案	評議員選任・解任委員の選任について
	第4号議案	定時評議員会の招集について
	第5号議案	評議員選任候補者について
9月20日	第1号議案	赤い羽根共同募金運動について
	第2号議案	給与・退職金規程及び非正規職員就業規則の変更について
	第3号議案	グループホーム五湖の郷の休廃止について
12月16日	第1号議案	令和6年度上期事業報告及び会計報告について
	第2号議案	令和6年度第1次補正予算（案）について
	第3号議案	育児、介護休業及び短時間勤務規程の変更について
	第4号議案	評議員会の招集について
3月14日	第1号議案	令和6年度第2次補正予算（案）について
	第2号議案	役員賠償責任保険契約について
	第3号議案	令和7年度事業計画（案）並びに予算（案）について
	第4号議案	苦情解決第三者委員の選任について
	第5号議案	評議員会の招集について

・ 評議員会の開催

6月21日	第1号議案	令和5年度事業報告及び決算報告について
12月26日	第1号議案	令和6年度上期事業報告及び会計報告について
	第2号議案	令和6年度第1次補正予算（案）について
3月25日	第1号議案	令和6年度第2次補正予算（案）について
	第2号議案	令和7年度事業計画（案）並びに予算（案）について

・ 監事会の開催

5月24日	令和5年度決算監査について
11月22日	令和6年度上期中間監査について

地域福祉事業

<小地域福祉活動推進事業>

◇ 地域課題解決を目的とする、住民が主体となった福祉活動の支援

- ・地域づくり協議会へ参加し、地域住民との意見交換や課題の解決にむけての情報提供を行いました。
- ・小地域福祉活動推進モデル集落を 5 集落指定しました。集落代表者と個別に連絡をとり、定期的に課題の共有や情報交換を行うことで集落の将来を見据えたこれからの福祉活動について検討する機会を作ることができました。

(1) 熊川地区支え合い推進委員会 2 回

瓜生地区支え合い推進委員会 1 回

(2) 小地域福祉活動推進モデル集落の設置（共同募金審査委員会にて決定）

令和 4 年度～令和 6 年度：下タ中区、兼田区

令和 6 年度～令和 8 年度：田上区、南前川区、末野区

- ・地域で行われるサロンに他部署と連携し参加する事で、地域課題の解決に努めました。
- ・ほたる熊川宿の利活用について検討しましたが、有効的な活用方法がないため 5 月末をもって福井県農協に施設の返却を行いました。

◇ 福祉委員が地域福祉活動において中核的な役割を担う人材となるための支援

- ・福祉委員活動の振り返りや就任 2 年目の活動につながる基盤づくりとなるよう、グループワークを取り入れた福祉委員研修会を上中地域、三方地域それぞれで行いました。

<ボランティアセンター運営事業>

◇ 住民や企業に向けたボランティアセンターの周知と PR

- ・町内をはじめとする県内のボランティア体験活動情報について広報誌を活用し発信しました。また、ボランティア説明会を実施し、住民へボランティア啓発を行いました。
- ・三方建築業組合による家屋補修ボランティアを 8 月 18 日に実施しました。11 月 24 日に上中建築組合による家屋補修ボランティアを実施しました。

(1) ボランティア登録、更新、斡旋業務の充実

ボランティア活動保険加入者数 1,161 名

(2) 福祉教育の推進

ボランティア出前講座の開催

6 月 17 日 車椅子体験

美方高校

9 月 19 日 福祉・障がいについて

三宅小学校

10 月 7 日 車椅子体験

三宅小学校

10月22日	アイマスク体験	三宅小学校
10月29日	町内高齢者施設体験	美方高校
11月6日	福祉について	瓜生小学校
11月13日	高齢者疑似体験	瓜生小学校
11月15日	福祉について	気山小学校
11月19日	障がい者スポーツ	気山小学校
11月20日	車椅子体験	瓜生小学校
11月21日	障がいについて、アイマスク体験	熊川小学校
11月25日	福祉介護の仕事についての講義	美方高校
11月29日	高齢者疑似体験	鳥羽小学校
12月3日	車椅子体験	気山小学校
12月10日	手話体験	気山小学校
1月14日	高齢者疑似体験	鳥羽小学校
1月17日	車椅子体験	鳥羽小学校
2月12日	高齢者疑似体験	三方小学校
2月25日	福祉について	美方高校
3月5日	車椅子体験	野木小学校
3月7日	障がい、福祉について	野木小学校

(3) 家屋補修支援事業

三方地域	8月18日	希望者 3件	実施 2件	ボランティア 6名
上中地域	11月24日	希望者 8件	実施 7件	ボランティア 17名

(4) ボランティア活動への支援

図書館ボランティア『虹の会』 おげんきですか発行支援 4回

(5) サポーター企業について

サポーター企業と定期的に連絡を取り、情報の共有や今後地域とどのような関わりができるかについて、検討を行いました。

(6) 地域で支える送迎サービス

利用登録者 62名 貸出件数 235件 利用延人数 671名

(7) レクリエーション用具の貸出し

道の駅三方五湖、田上サロン、上中 JBC、鳥羽公民館、横渡サロン、熊川サロン、みそみ公民館、三田子ども会、安賀里区、岩屋サロン、井ノ口区、浄漣寺日曜学校（鳥浜区）、有田サロン、わかさスマイル食堂、三宅公民館、南前川サロン、新道老人会

<つながりの輪推進事業>

◇ ボランティア活動を通じた地域へのつながりを推進

- ・ ボランティア活動普及のためボランティア出前講座について当会での取り組み内容を社協だよりや SNS を通じて啓発を行いました。

<子どもを中心に地域で取り組む福祉教育推進事業>

◇ 子どもの頃から自主的に福祉活動に取り組むことが出来るよう支援

- ・「共に生きる力」を育む「福祉共育」として、美方高校を対象に、福祉に関する出前講座や実際の施設での体験学習を通して、高齢者と接する機会を持ち地域福祉の推進を図りました。

<若狭町災害ボランティアセンター連絡会運営事業>

◇ 発災時の動き方や設置、運営に関する協議

- ・若狭町担当課と災害ボランティアセンターの今後の運営方法について検討しました。
- ・災害ボランティアセンターに関する研修会に参加し、運営に関する知識を深めました。

<送迎支援サービス事業>

◇ 住民のニーズを踏まえた支え合える体制づくりの推進

(1) 個人用福祉車両貸出し事業 (16 件)

(単位：延利用者数)

(上半期)	年間 目標	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	小計
個人用貸出	55	3	3	3	4	1	0	14
		2	2	2	2	2	1	11
地域で支える 送迎サービス	1,080	71	60	68	62	59	61	381
		65	69	61	60	54	55	364

(下半期)	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	小計	合計
個人用貸出	0	0	1	3	4	2	10	24
	0	2	2	0	0	1	5	16
地域で支える 送迎サービス	69	63	60	48	56	62	358	739
	65	59	49	49	42	43	307	671

※上段は昨年度実績、下段は今年度実績

<福祉総合相談事業>

◇ 各種相談事業の周知と様々な相談への対応

(1) 心配ごと相談

毎月第 2 火曜日 6 回開催 相談件数 4 件 (上中地域 2 件、三方地域 2 件)

(2) 無料法律相談

毎月第 2 火曜日 6 回開催 相談件数 52 件 (上中地域 33 件、三方地域 19 件)

- ・相談内容により、若狭町担当課と情報共有し相談者の課題解決のため連携を行いました。

<生活困難者支援事業>

◇ サービス利用者に合わせた適切な支援

- ・ 認知症高齢者や知的障がい者など、判断能力の不十分な方が在宅生活を継続していくため、地域住民や関係機関と連携しながら、適切なサービスの提供に努めました。
- ・ 生活福祉資金貸付事業において借入申込受付を行いました。相談はありましたが、契約には至りませんでした。
- ・ 当会が実施する介護サービスの利用者のうち、家庭の事情等により金銭等の管理が困難な方の、少額の現金を管理しました。
- ・ 所持金が少なく、食事に困っている生活困窮者に対して、食糧の提供を行いました。

(1) 日常生活自立支援事業

(新規契約 2 件、契約終了 0 件、現在利用中 13 件)

(2) 金銭等管理事業

(新規契約 2 件、契約終了 0 件、現在利用中 8 件)

(3) ふくしの資金貸付事業

①生活福祉資金貸付

(新規契約 0 件、契約終了 0 件、現在利用中 52 件)

②たすけあい金庫貸付 2 件

③緊急食糧支援事業 5 件

(4) ふく福くらしサポート事業

生活困難者を対象とした総合的な相談や生活支援(現物給付)を行いました。

(相談 2 件、利用 2 件)

<広報活動>

◇ 様々な世代に対する地域福祉活動などの福祉情報の広報

- ・ 地域福祉に関心を持ってもらえるよう、住民の関心の高い情報をわかりやすく広報誌や SNS など、より効果の高い媒体を使い、積極的に発信しました。
- ・ 地域での福祉活動などに活用頂けるレクリエーション用具を広報誌等で発信したことにより、新たな利用先への貸出しへと繋がりました。
- ・ ホームページや SNS を使い、町内の情報をはじめ県内のボランティア情報や福井県共同募金会の情報を発信しました。

(1) 社協だよりの発行 6、10、2 月発行

<介護予防・生活支援>

◇ 福祉用具が必要な方への貸出し

- ・福祉用具の利用状況（利用者の状態に適しているか、異常の有無）を確認し、貸出用具が有効に活用されている状態を維持できるよう取り組みました。
- ・必要に応じて貸出用具を整備し、いつでも貸し出せる状態を維持しました。

（１）介護用品無料貸出事業

ベッド	貸出し中	15 台（残 0 台）
車いす	貸出し中	8 台（残 13 台）
スロープ	貸出し中	1 台（残 2 台）
サイドテーブル	貸出し中	0 台（残 3 台）

＜障がい者アート作品公募事業（きらりアート展）＞

- ◇ 障がい者および特別に支援を必要とする児童・生徒の公募アート作品展開催
 - ・県の障害福祉施設情報を基に公募案内先を見直し、新たな障害福祉事業所へ公募案内を行いました。その結果、新規事業所からの出品があり新たな作者の発掘や活躍できる場の提供へとつながりました。
 - ・申込受付(173 点)及び審査会を実施し、受賞作品 36 点が決まりました。パレア若狭ギャラリー及び県庁、美浜なびあす、ネッツトヨタ福井、福井県立美術館での巡回展示行い、障がい者アートを県内に広く周知する事ができました。
 - ・障がいや遠方に居住しているなどの理由で展示会に来ることが難しい方にも出展作品を楽しんでいただくため、当会の YouTube チャンネルや SNS で全出展作品を掲載した動画を制作し、配信を行いました。

＜共同募金助成金事業＞

- ◇ 集落での活動、障がい者や生活困難者への支援などさまざまな地域福祉事業への共同募金助成金の活用

【一般募金助成金事業】

- ・小地域福祉活動推進モデル集落（5 集落）への助成
- ・きらりアート展の開催 応募数 173 点
- ・要援護者支援調査
若狭町内の要援護者についての調査を行う費用として活用しました。
- ・遊具助成事業
遊具の設置・修繕が必要な集落、団体へ費用の一部を助成しました。
助成集落、団体：三十三公民館、野木公民館、三方区、新道区
- ・福祉団体等への助成
地域を少しでも良くしようと取り組んでいる団体や学校が行う福祉事業に対して助成しました。
助成団体：三宅小学校、上中中学校、野木小学校、みそみ小学校、若狭町子ども会育成連合会、若狭町知的障害児（者）家族の会のぞみ会、藤井健康づくりの会、ぴーすふるわかさ

【歳末たすけあい募金助成金】

- ・障がい児（者）クリスマス会

障がいを持った子どもたちとその家族を対象に実施しました。

開催日：12月8日 参加者：24名

- ・福寿すまいる事業

町内在住の75歳以上で町内に実子がいなひとり暮らしの方を対象に、「そば・豆」「花・お茶」「日用品」から希望する品を福祉委員が安否確認や孤独感の緩和を兼ねて配布して頂きました。贈呈品には、町内の小学校の児童からの手書きのメッセージを同封しました。

配布日：12月19日 配布先：64集落 218名

- ・はっぴい届け弁当事業

ひとり親家庭、生活保護受給者世帯、ひとり暮らし高齢者の支援を必要とする方を対象に、お弁当を届けました。お弁当は、中村康裕氏（善司郎食堂部）を講師に町内の高校生がボランティアとして74個作りました。

開催日：12月7日

通所介護事業

- ◇ 安全で安心して在宅生活が送れるようニーズの把握に努め、専門性を活かした個別サービスを提供します。
 - ・多様なニーズに対応し、サービスの幅を広げることができました。
 - ・デイサービスを交流の場として開放し、新たなボランティアを積極的に受け入れることができ、地域との関りを持つことができました。

＜デイサービスセンターパレア若狭＞

- ◇ 個別ケアのサービス提供
 - ・7月から緩和型の利用日を週5日から週6日に変更して、土曜日の営業を開始しました。
 - ・意欲向上のため趣味の読書やパターゴルフなどが出来る環境整備をして認知機能の低下予防や機能訓練を行いました。
 - ・感染対策のための卓上衝立を撤去したことで、利用者同士のコミュニケーションが充実し、活動全般をとおして活気が戻り楽しい雰囲気づくりが出来ました。
 - ・機能訓練として嚥下体操や口腔ケアに特に力を入れて取り組みをしました。
- ◇ 地域とのつながりを持ち、地域に寄り添った活動
 - ・外部ボランティアの受け入れを積極的に行い、地域の方々との交流が出来ました。
 - ・パレア若狭で行われたイベントに参加し、バイオリンや絵画の鑑賞をして貴重な体験となりました。
 - ・熊川地区のサロンに出向き、体操や機能訓練のための脳トレなどを行いデイサービスを知ってもらう機会を持つことが出来ました
 - ・家族介護教室を開催し防災について学びました。介護者、利用者、職員が興味を持って学ぶことができ、デイ利用者も一住民として交流を深めることが出来ました。
 - ・近隣小学校の福祉体験学習をきっかけに、小学生の訪問があり世代間の交流をすることが出来ました。

- ◇ 利用実績（定員：18名 営業日：月曜日～土曜日 ただし年末年始は除く）

（単位：延利用者数）

（上半期）	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
通所介護	3,620	336	376	356	335	295	277	1,975
		290	284	268	269	262	254	1,627

(下半期)	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	小計	合計
通所介護	297	271	272	271	254	272	1,637	3,612
	295	288	273	245	225	271	1,597	3,224

※上段は昨年度実績、下段は今年度実績

◇ 利用実績（定員：7 名、営業日：月曜日～土曜日 ただし年末年始は除く）

（単位：延利用者数）

(上半期)	年間 目標	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	小計
緩和型 A 型	620	61	42	47	33	29	34	246
		64	76	68	78	72	80	438

(下半期)	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	小計	合計
緩和型 A 型	38	47	51	54	55	74	319	565
	81	74	74	58	59	71	417	855

※上段は昨年度実績、下段は今年度実績

<デイサービスセンターいずみ>

◇ 利用者のニーズに合わせ個別サービスが提供できる施設づくり

- ・ 設定型デイサービスから利用者の趣味嗜好に合わせたデイサービスに変更し、新たな取り組みとして、食事レク・外出レク・イベント行事・畑作業・歩行訓練を取り入れ自立支援に繋げる事ができました。食事レクでは、自分たちで育てた野菜を使用し豚汁や鍋等、自ら調理し食べる事でよりおいしく食すことができました。ジャグジー付きの個浴、大型テレビを導入した事で利用者の反応も良く、満足度を上げる事ができました。

利用者が主体となり取り組む事で、楽しみや生きがいを感じ利用者の声が形となっていく、そんな取り組みができました。

◇ 地域の協力を得ながら交流を深める取り組み

- ・ 日々の活動に協力いただけるボランティアとして団体ボランティア 1 団体、新年会には 2 団体の方が来てくださり、地域の方と楽しく交流ができました。
- ・ 地域福祉事業と連携しサロンに 7 回出向き、体操やレクリエーションなどで交流する事でデイいずみが身近な存在・場所になるよう取り組みました。

◇ 利用実績（定員：18名 営業日：月曜日～土曜日 ただし年末年始は除く）

（単位：延利用者数）

（上半期）	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
通所介護	2,980	192	230	241	230	222	203	1,318
		196	207	191	205	219	216	1,234

（下半期）	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
通所介護	223	229	189	184	182	179	1,186	2,504
	249	217	203	197	191	206	1,263	2,497

※上段は昨年度実績、下段は今年度実績

◇ 利用実績（定員：10名、営業日：月曜日～金曜日 ただし年末年始は除く）

（単位：延利用者数）

（上半期）	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
緩和型A型	536	26	18	16	18	24	31	133
		37	37	31	38	46	39	228

（下半期）	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
緩和型A型	37	27	31	35	34	41	205	338
	47	47	42	49	47	44	276	504

※上段は昨年度実績、下段は今年度実績

<デイサービスセンター五湖の郷>

◇ 地域に根差した事業所として地域とのつながりの充実

- ・ 西田公民館イベントやハート&フェスタでの展示に向けて多数の作品を制作しました。また施設内にも展示し来館される人たちへのPRに結びました。
- ・ 梅の里保育園、梅の里小学校と連携し、施設内での世代間交流活動を年5回実施しました。また年長組の園児に利用者の手作り品を卒園お祝いとしてプレゼントしました。
- ・ 五湖の郷インスタグラムを積極的に活用して活動内容を発信しました。

◇ 健全な経営を行うため提供内容や個別サービスの見直し

- ・ 利用者個々のニーズを反映したレクリエーション活動や嗜好品を提供する事で、サービス内容の向上に結びました。
- ・ 県の補助事業を活用しモデル事業所として「eスポーツ活動」を取り入れ、利用者の運動機能向上や脳機能の活性化に繋げることが出来ました。また

高校生（気比高校・美方高校）の福祉実習を受け入れし「eスポーツ」を通じて多世代間交流しました。デイの新しい一面を知ってもらえるきっかけとなりました。

◇ 利用実績（定員：18名 営業日：月曜日～金曜日 ただし年末年始は除く）

（単位：延利用者数）

（上半期）	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
通所介護	2,431	205	217	190	197	192	187	1,188
		145	156	118	164	143	162	888

（下半期）	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
通所介護	201	176	180	129	140	130	956	2,144
	176	159	158	141	118	122	874	1,762

※上段は昨年度実績、下段は今年度実績

◇ 利用実績（定員：5名、営業日：月曜日～金曜日 ただし年末年始は除く）

（単位：延利用者数）

（上半期）	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
緩和型A型	291	30	30	30	30	30	30	180
		29	29	24	32	31	26	171

（下半期）	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
緩和型A型	30	30	30	28	26	26	170	350
	25	29	27	19	14	22	136	307

※上段は昨年度実績、下段は今年度実績

生活支援ハウス

- ◇ 居住機能・介護支援機能・自立支援機能を総合的に提供
 - ・入居後も通所介護や訪問介護のサービスを継続して利用できることで生活スタイルを変えることなく、安心して快適に過ごしていただきました。
 - ・台風などの荒天時や介護者の緊急入院など、急を要する入居に対応ができました。
 - ・積雪のため、入居期間内に自宅に戻れない利用者の対応として、緊急で2名の利用者を入居期間延長し受け入れることができました。
- ◇ 各関係機関との連携を強化し、より良い福祉施設としての運営
 - ・介護認定のついていない方のご利用において、サポートのための連携を町や県の担当へつなぐことができました。
 - ・包括支援センターや居宅介護支援事業所、病院の連携室などに生活支援ハウスの運営情報や空室状況を提供することで問い合わせが多くありました。安心してご入居やご退居後の新たな生活に繋がり、在宅生活復帰の支援をすることができました。
- ◇ デイサービスセンターパレア若狭との連携
 - ・入居をきっかけに介護保険サービスの利用を開始し、デイサービスパレア若狭に通うことで、自立支援と交流の場を提供することができました。
- ◇ 利用実績（居室利用定員：12名 営業日：月曜日～日曜日）

（単位：延利用者数）

（上半期）	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
生活支援ハウス	2,368	48	54	104	74	131	108	519
		187	208	222	203	199	136	1,155

（下半期）	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
生活支援ハウス	88	114	138	297	275	221	1,133	1,652
	164	172	174	201	168	140	1,019	2,174

※上段は昨年度実績、下段は今年度実績

居宅介護支援事業所わかさ

◇ 特定事業所の介護支援専門員としての資質向上

- ・ 毎月開催されている地域ケア会議への助言者として6月8月10月11月1月に参加しました。また、同会議の参加者として5月7月9月2月に事例提供を行いました。

◇ 地域福祉事業、小規模多機能ホームとの連携強化

- ・ 地域福祉事業の金銭等管理事業利用者や福祉機器貸出対象者について情報交換を行い、生活に必要な支援に結びました。
緊急的な生活費の支援や介護保険サービス利用料の支払いの支援が必要な方については、ふく福くらしサポート事業に結び、在宅生活の継続の支援を行いました。
- ・ 地域資源を利用者様の支援に繋ぐ事ができる事を目指して、地域サロンへ参加し、介護支援専門員の説明や顔の見える関係づくりを行い、地域の方と繋がる事ができる様努めました。
- ・ 小規模多機能ホームの地域の方の新規の認定者については、どの在宅サービスが適切かを利用者様の立場に立って小規模多機能ホームとも連携・相談を行い利用者様にも提案する事ができました。

◇ 相談窓口としての役割強化

- ・ 窓口にプレートを設置し、来客者に相談窓口としての周知を行いました。
- ・ 8月9月の福祉委員研修会に介護支援専門員として酸化し、相談窓口として介護支援専門員を活用して頂けるよう、説明を行いました。

◇ 利用実績

(単位：延利用者数)

(上半期)	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
居宅介護支援	1,750	143	147	144	137	130	130	831
		126	131	128	128	124	132	769

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
居宅介護支援	130	131	130	130	124	119	764	1,595
	138	139	135	133	130	130	805	1,574

※上段は昨年度実績、下段は今年度実績

介護予防・上半期実績 261件、下半期実績 259件

訪問看護ステーションわかさ

- ◇ 各関係機関、他の事業所との連携強化
 - ・ 総合病院も含めた近隣医療機関や居宅介護支援事業所、障害支援事業所との連携をより密に行うことで、訪問看護が必要な利用者等へ迅速にサービス提供を行いました。
 - ・ 地域ケア会議への出席等、地域包括ケアシステムの構築に向けた支援体制に貢献しました。
- ◇ 在宅生活を継続できる支援体制の整備
 - ・ ターミナル期、医療処置が必要な利用者等に対し土日祝日も含めた計画的な訪問看護を提供し、在宅生活の支援を行いました。
 - ・ 利用者家族に対する介護指導や生活支援等を重点的に実施し、在宅生活の維持に努めました。
- ◇ 多様な障がいへの対応
 - ・ 高齢者への対応に限らず、若年者や小児等、様々な年代の利用者へのサービス提供を行いました。また、難病や精神疾患等、様々な疾病への対応に努めました。
- ◇ 健全な経営を行うため、策定した経営改善計画の遂行
 - ・ 利用者や医師、介護支援専門員から信頼されるステーションとなるよう、積極的に研修へ参加し、自己研鑽に努めました。
- ◇ 利用実績（営業日：月曜日～金曜日　ただし祝日、年末年始は除く）

（単位：延利用者数）

（上半期）	年間 目標	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	小計
訪問看護(予防)	440	49	59	42	43	48	48	289
		52	46	56	70	64	74	362
訪問看護(介護)	4,273	310	311	330.5	261	330	301	1,843.5
		299	308	298.5	332	294	286	1,817.5
訪問看護(医療)	1,303	115	111	129	97	110	107	669
		104	100	120	130	84	124	662

(下半期)	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	小計	合計
訪問看護(予防)	48	53	49	44	46	42	282	571
	79	69	86	75	73	83	465	827
訪問看護(介護)	304	318.5	303	273	276	302	1776.5	3,620
	326	307	325	297	267	328	1,850	3,667.5
訪問看護(医療)	103	116	112	96	101	93	621	1,290
	98	96	118	111	84	94	601	1,263

※上段は昨年度実績、下段は今年度実績

ホームヘルプサービスいずみ

◇ 中重度対応の強化

- ・ 外部講師を招いての研修 1 回、リモートでの研修を 1 回行いました。毎月の定例会では、職員が講師役となりヘルパーに必要な研修を行いました。中重度の利用者への対応の確認も必要に応じて行いました。

◇ 他事業所との連携強化

- ・ 各自が利用者の様子を知ることにより責任を持ち、的確な記録を残すことにより担当が現状を正確に把握することができています。担当を中心にケアマネジャーや各関係機関に必要な情報を共有することができました。

◇ 利用実績 （営業日：月曜日～日曜日 ただし、1 月 1 日～3 日までは除く）

（単位：延利用者数）

（上半期）	年間 目標	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	小計
訪問介護（介護）	8,576	717	727	717	669	719	691	4,240
		623	626	672	659	640	679	3,899
緩和型 A 型	480	34	49	49	44	42	37	255
		45	53	49	60	49	46	302
訪問介護 （障がい）	506	34	52	42	50	53	43	274
		48	58	37	57	55	43	298

（下半期）	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	小計	合計
訪問介護（介護）	682	669	632	607	633	635	3,858	8,098
	707	643	603	576	546	655	3,730	7,629
緩和型 A 型	41	40	48	39	42	43	253	508
	65	55	50	38	41	43	292	594
訪問介護 （障がい）	51	42	43	39	41	47	263	537
	58	44	41	34	28	62	267	565

※上段は昨年度実績、下段は今年度実績

生きいきふれあい館

- ◇ 介護予防および地域交流、世代間交流の場等全世代の公共施設としての利用促進
 - ・ 5 月に株式会社レインボーラインの利用があり、兵庫県の修学旅行生（中学生）約 200 人がチームコミュニケーション活動を行いました。2 月にも利用予定でしたが、大雪のため旅行行程が変更になりキャンセルとなりました。また、冬季に野球クラブ（中学生）の利用があり、幅広い世代に利用していただくことができました。
 - ・ 3 月に市内の小学生を対象にした「かけっこ教室」を開催し、10 名の参加がありました。アンケートの結果、生きいきふれあい館について今回初めて知った、初めて利用した方が半数以上で、認知度を高めることができました。
 - ・ ゲートボール・グラウンドゴルフの普及活動の一環として、集落サロンや小学校にゲートボール・グラウンドゴルフ用品を貸出しました。

◇ 利用実績

（単位：延利用団体数）

（上半期）	年間 目標	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	小計
生きいき	779	56	59	59	61	36	59	330
ふれあい館		50	59	56	61	36	43	305

（下半期）	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	小計	合計
生きいき	60	64	63	64	85	66	402	732
ふれあい館	56	57	62	70	64	69	378	683

※上段は昨年度実績、下段は今年度実績

葬祭事業

◇ サービスの向上

- ・ ご遺族の方に穏やかな追想のときを過ごしていただけるよう、心をこめて業務にあたっています。
- ・ 地域に根ざした施設運営として北前川老人会による施設周辺清掃を 10 回（毎月第 3 日曜日）受入れました。

◇ 利用実績

（単位：件数）

（上半期）	年間 目標	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	小計
葬祭事業	—	20	20	10	17	17	14	98
		13	11	13	15	22	13	87

（下半期）	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	小計	合計
葬祭事業	17	14	12	20	28	18	109	207
	17	17	24	21	27	24	130	217

※上段は昨年度実績、下段は今年度実績

コミュニティカフェきらやま茶屋（障害者就労継続支援 B 型）

◇ 誰もが安心して働くことができる環境づくり

- ・利用者との会話やモニタリングを通して本人のニーズを聞き取り、その上で作業内容を変更するなどして、その方に合った作業環境を提供することができました。
- ・障がいに対する基本的な部分や事例検討などの研修、ジョブガイダンスへの参加、自立支援協議会への積極的な参加を行ったことで、職員の知識や技術や働く事への意欲の向上につながりました。

◇ 利用者の工賃向上

- ・焼き菓子は実績が伸び悩みましたが、カフェや弁当の売上収益は前年度に比べ伸び、10月から工賃をアップすることができました。
- ・利用者への就労支援により、1名が一般企業への就労に結びつきました。
- ・日々の相談や関係機関との連携は密にできていましたが、3名の方については安定して利用ができませんでした。

◇ 誰もが気軽に集える施設づくり

- ・様々な見学の受け入れや地域イベントへの参加にも力を入れましたが、SNSでのPRは十分にできませんでした。

◇ 利用実績（定員：20名 営業日：月曜日～金曜日、ただし年末年始は除く）

就労継続支援は延利用者数（単位：人） その他項目は売上金額（単位：千円 ※端数切捨て）

（上半期）	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
就労継続支援	4,845	350	404	378	376	387	365	2,260
		381	408	347	408	363	350	2,257
カフェ	4,972	490	572	487	415	380	410	2,754
		438	563	562	522	517	466	3,068
売店	977	71	103	93	71	106	60	504
		79	76	72	66	64	57	414
清掃・内職その他	3,158	187	273	230	378	258	242	1,568
		189	295	287	230	332	320	1,653
Felice	3,693	145	195	191	270	406	231	1,438
		317	347	174	236	380	170	1,624

（下半期）	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
-------	-----	-----	-----	----	----	----	----	----

就労継続支援	361	366	344	323	340	331	2,065	4,325
	385	377	346	340	330	351	2,129	4,386
カフェ	388	507	351	300	337	420	2,303	5,057
	562	485	547	447	455	612	3,108	6,176
売店	90	47	70	64	69	48	388	892
	60	44	73	56	61	66	360	774
清掃・内職その他	266	253	216	216	372	359	1,682	3,250
	298	264	222	255	263	263	1,565	3,218
Felice	321	356	679	176	164	657	2,353	3,791
	325	393	467	147	262	353	1,947	3,571

※上段は昨年度実績、下段は今年度実績

小規模多機能ホーム

- ◇ 地域の福祉拠点として、利用者ニーズと地域のニーズを融合させ、顔の見える体制づくりと柔軟な支援
 - ・地域の頼れる福祉拠点として、利用者ニーズに合わせ宿泊の対応や急な訪問など臨機応変に対応し住み慣れた地域での生活を支えました。
 - ・事業所同士が課題を共有するため、法人内の小規模多機能事業所との情報交換に加え、近隣社協の小規模多機能事業所と制度や職場環境改善への取り組み等を話し合いました。

<小規模多機能型居宅介護みさき>

- ◇ 地域医療と連携し、利用者や地域の方々が健康に暮らせるように支援
 - ・主治医にメールや電話で状態の報告や相談、具体的な指示を仰ぎ、現場にフィードバックをする流れを作り、状態の変化に迅速に対応することができました。
 - ・地域医療との連携を目的に、僻地診療後の薬剤を高齢者宅に配送し、地域と医療との架け橋的な役割を果たしました。
- ◇ 地域の方々との交流する機会を設け、頼れる福祉拠点としての活動の充実
 - ・梅の里小学校や梅の里保育園との交流会、地域づくり協議会主催のイベントに参加し世代を越えて交流する機会を確保することができました。
 - ・みさきでの活動を「情報誌みさき通信」や「五湖の郷インスタグラム」を活用し情報発信に力を入れることができました。また SNS を活用し利用者の活動の様子をリアルタイムに家族へ発信、また利用者本人との連絡用として活用することもできました。
 - ・地域住民からの相談を年間 7 件受け付け、関係機関と連携を取りながら尽力し解決方法を導くことができました。サービス提供だけでなく、地域の中で見守り支え合うネットワークの中でみさきもその一部として役割を果たすことができました。

- ◇ 利用実績（定員：18 名 営業日：月曜日～日曜日）

（単位：登録者数）

（上半期）	年間 目標	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	小計
小規模多機能型 居宅介護	168	14	15	15	15	14	12	85
		14	13	14	13	13	13	80

（下半期）	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	小計	合計
小規模多機能型 居宅介護	12	12	13	13	12	13	75	160
	11	11	11	11	11	11	66	146

※上段は昨年度実績、下段は今年度実績

＜小規模多機能型居宅介護きやま虹の家＞

◇ 地域の方と共に充実した生活の実現

- ・ 地域の一員としてサロンや公民館行事に利用者の方と共に参加し、関係作りの繋げ役として活動しました。また、コロナで中止していたにじカフェを開催し、多くの方に参加いただきました。また、世代間を越えお年寄りから子どもまでもが交流できる場として 10 周年感謝祭や夏休み企画を実施しました。
- ・ 地域の気がかりな方の訪問を定期的に行い、介護や医療に関する相談にも応じました。

◇ 切れ目のない支援で在宅生活の継続

- ・ 臨機応変に対応できる体制を整え、もしもの時の頼れる存在として日曜日のご自宅への訪問やお泊りにも対応しました。
- ・ 細やかなアセスメントにより困りごとや些細な変化を早期に対応できるよう感染症や認知症等の研修を月 1 回程度行い、職員のスキルアップの向上に努めました。

◇ 利用実績（定員：18 名 営業日：月曜日～日曜日）

（単位：登録者数）

（上半期）	年間 目標	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	小計
小規模多機能型 居宅介護	150	10	10	10	10	12	12	64
		13	11	11	11	11	10	67

（下半期）	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	小計	合計
小規模多機能型 居宅介護	12	12	12	12	12	13	73	137
	9	12	12	13	13	11	70	137

※上段は昨年度実績、下段は今年度実績

介護予防拠点施設五湖の郷

◇ 地域交流の場としての機能強化

- ・ 交流事業の一環として梅の里保育園の園児による発表会、また利用者との交流会を行いました。
- ・ 園児や親子、児童等が五湖の郷敷地内を自由に安全に利用できるように、定期的に整備し中庭を開放しました。
- ・ 地域交流を目的にボランティア団体と障がい者が園芸活動で交流を実施しました。

◇ ボランティア活動の推進

- ・ 定期的に活動いただいているボランティアは、環境美化ボランティア（草刈り・剪定・窓拭き）、レクリエーションボランティア（音楽・本読み・麻雀等）となっており、年間 212 人の方が活動されました。

◇ 福祉学習の推進

- ・ 敬老の日の長寿の祝いを目的とした梅の里小学校と福祉交流を行いました。交流内容は踊りや歌、そして手作り品のプレゼント等、高齢者をはじめ障がい者と児童達が身近にふれあう機会をもつことができました。

特別養護老人ホーム五湖の郷

<特養事業>

- ◇ 入居者・職員それぞれの想いを大切に心身の健康を保ちながら過ごしやすい環境づくり
 - ・特養事務所を特養棟内に移設し、他職種間のスムーズな情報の共有および連携しやすい環境づくりに努めました。
 - ・福祉機器の展示会に出向き、効率良くかつスキンケアアップおよび職員のモチベーション向上につながる入浴機器（泡シャワー）をデモンストレーション後に購入し、業務改善に向けて取り組みました。
 - ・研修システムの導入により年間通しての法定研修およびキャリアパス研修受講により、介護職員をはじめ他職種の職員も改めて意欲の向上に繋がりました。
 - ・介護職員による日々の細かな気付き、看護職員による情報の精査および嘱託医との連携により、早期受診・早期対応に取り組みました。年間入院者 9 名、入院日数 211 日となりましたが、早期搬送により早期に施設へ戻れたケースが 6 件でした。
 - ・移乗ロボットを活用する事で、大柄で立位困難な入居者でも安心安全な移乗やトイレでの排泄が可能となっています。また職員の腰痛予防にも繋がりました。
 - ・本人や家族の意向に沿った看取りの対応に努め、揺れ動く家族の思いをその都度確認し、年間の退所者 10 名のうち 6 名が施設内で看取りを行いました。

◇ 利用実績（定員：29 名 営業日：月曜日～日曜日）

（単位：延利用者数）

（上半期）	年間 目標	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	小計
特別養護 老人ホーム	10,373	844	891	798	841	870	861	5,105
		827	842	856	868	818	814	5,025

（下半期）	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	小計	合計
特別養護 老人ホーム	854	803	899	897	841	863	5,157	10,262
	869	862	893	837	766	899	5,126	10,151

※上段は昨年度実績、下段は今年度実績

<高齢ショート事業>

◇ 在宅サービスを支える最後の砦として安心できる施設づくり

- ・認知症による問題行動の強い利用者や医療度の高い利用者の受け入れや、緊急利用についても柔軟にかつ積極的に受け入れました。
- ・在宅での生活の中で利用者にとって当たり前と感じる習慣やこだわりを大切に1人ひとり個別の活動時間を設けました。また高齢デイサービスの利用者を招待してお菓子作りなどの催し物を年3回行い、交流を深めました。
- ・福祉機器の展示会に出向き、効率良くかつスキンケアアップおよび職員のモチベーション向上につながる入浴機器（泡シャワー）をデモンストレーション後に購入し、業務改善に向けて取り組みました。
- ・介護職員による日々の細かな気付き、看護職員による情報の精査により相談員から居宅ケアマネや家族に速やかに報告し、重症化リスクの軽減に努めました。必要時にはショート利用時のバイタルや気になる点をまとめ、受診時に活用していただきました。
- ・立位困難な利用者でも介護ロボット等の機器の活用により、安心安全な移乗が行え、また職員にとっても腰痛予防に繋がる優しい環境づくりに努めました。

◇ 利用実績（定員：10名 営業日：月曜日～日曜日）

（単位：延利用者数）

（上半期）	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
高齢者ショート ステイ(予防)	5	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0
高齢者ショート ステイ(介護)	2,988	219	229	256	251	239	244	1,438
		250	260	273	259	256	224	1,522

（下半期）	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
高齢者ショート ステイ(予防)	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0
高齢者ショート ステイ(介護)	213	250	267	267	213	256	1,466	2,904
	239	236	257	250	252	280	1,514	3,036

※上段は昨年度実績、下段は今年度実績

認知症対応型グループホーム五湖の郷

- ◇ 入居者と地域の多様な人材交流の場を提供し、認知症の相談・支援・啓発の拠点としての役割の強化
 - ・梅の里保育園や梅の里小学校との交流会や田井地区祭りに出向き子供達や地域の方々と交流することができました。
 - ・入居者に馴染みのある三方石観音や、花を植えることを目的に苗を買いに行くなど外出をする機会を増やすことができました。
- ◇ 入居者のニーズに対する医療との連携と体制強化
 - ・入居者や家族の意見も尊重しながら、主治医との連携を密にし ADL の状況に合わせた対応が出来るようケース会議を行いました。
 - ・職員の退職によって適正な人員配置を維持することが困難な状況となり、令和 6 年 12 月 31 日で事業廃止しました。全入居者は特別養護老人ホーム及び高齢ショートステイへ所替しました。

◇ 利用実績（定員：9 名 営業日：月曜日～日曜日）

（単位：延利用者数）

（上半期）	年間 目標	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	小計
グループホーム	3,186	270	268	263	270	263	240	1,574
		270	262	238	221	171	111	1,273

（下半期）	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	小計	合計
グループホーム	225	269	278	274	261	243	1,550	3,124
	62	21	0	0	0	0	83	1,356

※上段は昨年度実績、下段は今年度実績

障がい者日中活動支援施設

- ◇ 障がいの程度やニーズに応じた支援の強化
 - ・ 障がい者のニーズに応じた個別対応やレクリエーション活動の調整のため定期的にケース会議を実施しました。また ICT（タブレット 3 台）を活用し合理的配慮に努めました。
 - ・ 利用者の障がい特性を理解し、日中安心して過ごす事ができる個別活動スペースをフロア内に追加（2 か所）整備しました。
- ◇ 地域住民に対して障がい者（児）理解の促進
 - ・ 日中活動支援に協力頂ける地域ボランティアの受け入れを年間 92 回実施しました。9 月に実施した園芸レクリエーションでは、ボランティア団体との活動を共にできたことは利用者にとって良い経験となりました。また 10 月から定期的に活動される支援ボランティアを受け入れました。
 - ・ 児童や学生と交流できる機会を年間 18 回実施、利用者自身が地域住民と関われる野外活動は年間 36 回実施しました。
- ◇ 健全な経営を行うため、事業内容及び職員体制を見直し
 - ・ 職員の離職防止を目的に職員同士がゆっくり業務について話せる時間を確保し、互いに助け合って業務にあたれる関係づくりに努めました。
 - ・ 夏場冬場の電気使用量が多い時間帯に、照明や空調等の節電に努めました。
 - ・ 社会福祉法人助成事業に応募し、福祉車両（省エネ車両）を 1 台入れ替えました。

<障がい者デイサービス事業（生活介護）>

- ・ 職員は専門性を高めるため、外部の高齢者・障害者虐待防止研修や身体拘束適正化研修、感染症研修、中堅職員フォローアップ研修等に参加し、スキルアップに努めました。
 - ・ 利用者同士が支え合って仲良く生活ができるように、創作活動や生産活動、清掃作業の役割を振り分け、互いを尊重できる環境を整えました。
 - ・ 個々の適性に沿った生産活動（空き缶作業、自販機作業、古紙作業）工程を作成し年間 1,197 回実施できました。昨年に引き続き、SDGs 活動（古紙・アルミ缶リサイクル）に尽力でき、実施回数は昨年度より 1.4 倍増となりました。
- ◇ 利用実績（定員：20 名 営業日：月曜日～金曜日 ただし年末年始は除く）
(単位：延利用者数)

(上半期)	年間 目標	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	小計
生活介護	2,172	173	199	192	184	188	184	1,120
		189	202	179	193	174	167	1,104

(下半期)	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	小計	合計
生活介護	191	191	187	175	175	183	1,102	2,222
	186	175	179	169	167	195	1,071	2,175

※上段は昨年度実績、下段は今年度実績

< 日中一時支援事業 >

◇ 児童を安全に受け入れられる職員体制の整備

- ・相談支援事業所や各市町の障害福祉課と情報共有し、受入れ対応に努めました。学校の休み期間（夏、冬、春）は、家族の希望に合わせて安全に受入れ対応しました。

◇ 利用実績（定員：1～4 名、営業日：月曜日～金曜日 ただし年末年始は除く）

（単位：延利用者数）

(上半期)	年間 目標	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	小計
日中一時支援	488	64	59	60	60	46	46	335
		58	42	36	39	32	30	237

(下半期)	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	小計	合計
日中一時支援	51	42	49	35	56	53	286	621
	31	31	31	38	27	29	187	424

※上段は昨年度実績、下段は今年度実績

障がい者ケアホーム五湖の郷

- ◇ 利用者が安心して生活ができ、その上で生き生きと自分らしく過ごすことができるための支援
 - ・ 将来の事を見据えて、相談員や介護保険事業所と連携し自分らしく安心して暮らせるための支援をしました。
 - ・ 行政と連携し、成年後見制度の利用につなげる事ができました。
- ◇ 五湖の郷障がい部門として健全な経営を行なうため、業務内容及び職員体制を見直し経営改善に努める
 - ・ 五湖の郷障がい部門として職員が互いの部署を兼務する事で利用者の状況を把握する事ができ、より細かな支援につなげる事ができました。

<ケアホーム事業>

- ◇ 利用者が安全、安心に過ごし自立した生きがいのある生活ができる事業所づくり
 - ・ 自立した生活を目的に支援や指導を行い、洗濯や食器洗いなどの日常生活に必要な作業ができるようになった事で自信につながり、自発的に行動できるようになりました。
 - ・ 集団生活を安心して暮らすためにルールづくりを行い、視覚支援によって入居者同士が確認でき互い声掛けをし合えるようになりました。
 - ・ 新規の入居者も他入居者と共にお互いを思いやりながらケアホームの生活を送る事ができました。

- ◇ 利用実績（定員：9名 営業日：月曜日～日曜日）

（単位：延利用者数）

（上半期）	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
ケアホーム	2,329	174	205	188	201	192	191	1,151
		179	197	189	191	163	158	1,077

（下半期）	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
ケアホーム	197	197	201	192	161	160	1,108	2,259
	169	175	164	179	174	207	1,068	2,145

※上段は昨年度実績、下段は今年度実績

※令和7年1月より定員9名に増床

<障がいショート事業>

- ◇ 可能な限り短期入所の緊急受け入れができる事業所づくり

- ・新規利用者也定期利用につながり、予定外の急な希望も可能な限り受け入れました。
- ・急な利用希望に対し、予定していた他利用者家族や相談員へ相談、調整、変更して受け入れました。

◇ 利用実績（定員：2名 営業日：月曜日～日曜日）

（単位：延利用者数【1泊を1とする】）

（上半期）	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
障がいショート	356	18	24	21	24	30	29	146
		40	38	31	33	33	28	203

（下半期）	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
障がいショート	33	36	39	32	39	39	218	364
	27	31	26	29	20	27	160	363

※上段は昨年度実績、下段は今年度実績

<移動支援事業>

◇ 柔軟なサービス提供の実施

- ・登録者及びケアホーム入居者の利用が減少し、移動支援の実績はありません。

◇ 利用実績（営業日：月曜日～金曜日）

（単位：延利用時間）

（上半期）	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
移動支援	140	0.5	0	0	0	1	1.5	1.5
		0	0	0	0	0	0	0

（下半期）	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
移動支援	1	1	0	2	0	1	5	6.5
	0	0	0	0	0	0	0	0

※上段は昨年度実績、下段は今年度実績